

大正銀婚 3 銭の目打バラエティ

永吉 秀夫



戦前の記念切手は守備範囲外ですが、ネットオークションで目にしたこの切手、櫛型と単線の目打違いを明瞭に表したマテリアルとして面白いものです。どうせ誰かが高値を入れてくるだろうと気楽にポチったら、そのまま落ちてしまいました。

右側の単線目打は 11×12 という複合目打です。縦目打の抜けが悪くで見にくいですが、右の拡大図からも読み取っていただけるでしょう。スケールの長い赤線が 10 ミリ間隔なので、20 ミリ間隔の青矢印部分の目打穴を数えて下さい。

『日専』にはこの切手に多くの目打バラエティが載っていますが、このような複合目打は一般の単線目打の数倍以上に評価されています(11×12 は単片で 5000 円)。深入りするつもりはありませんが、お守りとして大事にしておこうと思います。

